

Q 水道事業会計は、ここ数年赤字が続き、町の財政を圧迫している。抜本的な対策が必要と考えるが。

A 人口減少が進む中、給水人口が減っていくことを念頭に事業を進めなければなりません。近隣事業体との広域化も含め進めたいと考えています。



Q 工業団地内の企業は町の水道を使っているのか。

A 昭和40年代に進出した企業については、当時は井戸が掘れたので、井戸を持っています。町の水道を使っただけのようお願いします、徐々に転換していただいているところです。

Q ふれあい祭りで八つ頭を使った料理が提供されているが、八つ頭を町の特産品として生かしていく必要があると思うが。

A 商工会で五霞町産八つ頭を「五霞いも」として商標登録しましたので、特産品として発展させていく形を商工会、町関係部署と検討していきたいと考えています。

Q 認知症の症状や支援について理解を深める対策は。

A 今年度、認知症になった場合の支援等をまとめた「認知症ケアパス」を配布する予定です。また、認知症を知ってもらう取組みとして、中学生等を対象に認知症サポーター養成講座を実施しています。今後は、住民の方を対象に、徘徊している方を見かけた場合の模擬声かけ訓練を実施する予定です。



Q 五霞町では学校給食費の補助を行っているのか。

A 生活困窮者に対しては、補助を行っておりますが、一般世帯については、現在のところ行っていません。

Q 地域ケアコーディネーターの役割は。

A 支援が必要な方や一人暮らしの方で日常生活の不安や困っている方に対応しながら、各関係機関に相談をするなどの支援を行っています。



Q 認定こども園の定員数及び入所児童数、さらには町内外の割合は。

A 保育の方ですが、五霞保育園が120名中112名（町内91名、町外21名）。川妻保育園が80名中67名（町内58、町外9名）。



意見書を提出

定例会で採択された陳情について、地方自治法に基づき、意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

（なお、文章は要約して掲載しています）

○教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

学校現場では課題が山積し、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっている。ゆたかな学びの実現のためには教職員定数改善などの施策が

最重要課題である。

国の施策として財源保障をし、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう、次の事項を強く要請する。

- 1 計画的な教職員定数改善により少人数学級を推進すること
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること